

松岡御陵地区防災訓練(松岡御陵自主防災組織連絡協議会)

◇訓練概要

訓練日：令和 7年 6月 8日(日) 午前 7時 ～ 午前 9時30分

災害想定：風水害での警戒レベル4相当

内容：午前7時のサイレン吹鳴で訓練を開始。初めに区民は、班毎に安否確認(無事旗の確認)後、区内の一時避難場所に集合してから指定避難所である御陵公民館に避難。参集後は、地区毎に受付を行い、会場内を5つに分けて訓練等を実施。

- (地区訓練) 避難訓練(安否確認) (全体訓練) LINEによる避難所受付
① 心肺蘇生法訓練 ② ドローンによる情報確認 ③ 濃煙体験・防災グッズ紹介
④ 放水訓練(耐震性貯水槽) ⑤ 給水訓練

◇地区の特徴と訓練内容

御陵地区は九頭竜川の右岸に位置し、洪水ハザードマップでは全域が浸水区域内で、毎年、この時期に防災訓練を実施している。今年度の訓練は、通常的心肺蘇生訓練の外に濃煙体験や災害協定を結んでいる地域の日本商運(株)からドローンによる災害情報収集方法、耐震性貯水槽を活用した御陵消防団との放水訓練および給水訓練など住民体験型訓練を行いました。

◇訓練の成果

当日は、区毎の避難訓練に約350名が参加し、自分自身や家族、区民全体の安全を確認した後、公民館に100名が参集した「来て・見て・体験できる」住民体験型の訓練では、自分のできる防災活動を再確認することによって地域の防災力の向上が図られた。

(受付)



(訓練説明)



(心肺蘇生法訓練)



(ドローン)



(濃煙体験)



(耐震性貯水槽を活用し放水訓練)

